

授業科目名	生活環境論	科目コード	G3202P01
英文名	Living Environment		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高橋 ゆかり
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>地域環境について知ることは、その重要性を次世代の人々にも伝えるためにたいへん重要である。この授業では、大気環境、水環境、土壌環境の現状と課題についての理解を深める。また、生活環境問題は、他の環境問題とどのように関わっているのかということや、私たちの取るべき態度についても考える。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	地域環境問題	大気環境	土壌環境	化学物質	持続可能な社会
-------	--------	------	------	------	---------

到達目標	大気環境、水環境、土壌環境が良好であることの大切さについて説明できる。（40％）			
	生活の中で使われている物質の恩恵や不適切な使用によるリスクについて説明できる。（40％）			
	衣食住と世界とのつながりについて説明し、自分の意見を述べるができる。（20％）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>オリエンテーション-人間と環境のかかわりや環境問題を学ぶことの大切さ 授業の概要について説明する。また、人間活動や人口と環境のかかわりや人間活動にともなうどのような地球環境問題が生じたのかについて学ぶ。また、日本はこれまでの環境問題にどのように対処してきたのかということも学ぶ。</p>	
	【予習】特に定めないが、授業には必ず出席すること。	
	【復習】テキスト1～20ページおよび授業ノートを読んで復習する。地球環境問題とはどのような問題であるか整理する	30分
第2回	<p>大気環境 空気は人間の生存にとって不可欠なものである。空気と人間のかかわり、大気の役割やその組成などについて学ぶ。</p>	
	【予習】あらかじめ配布された資料を読んでおく。	
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。	
第3回	<p>さまざまな大気環境問題 酸性雨、黄砂などの大気環境問題、浮遊粒子状物質や微小粒子状物質 (PM2.5)などによる大気汚染の現状やとられている対策などについて学ぶ。また、現状やとられている対策などについても学ぶ。</p>	
	【予習】テキスト57～65ページを読み、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第4回	<p>室内空気の質 私たちは、一日の大半を室内で過ごしている。室内空気の質が良好であることは、健康にとって大切なことである。室内空気を汚染する可能性のある物質や発生源、室内環境を清浄に保つにはどうしたらよいか学ぶ。</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	<p>水環境と水環境問題</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	<p>土壌の役割と構造 土壌とは何か、生物の生存に対してどのような役割を担っているのかについて学ぶ。また、土壌の質や土壌が劣化してしまう原因について考える。 また、前半の授業の復習をする。</p>	
	【予習】土壌の機能と役割について調べ、整理しておく。 第1回から第7回の授業の復習をして授業に臨む。	120分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第7回	<p>土壌・地下水汚染 土壌汚染の原因、どのような物質が土壌汚染物質となるのか、土壌や地下水が汚染されるとどのような影響があるのかということについて学ぶ。さらに、汚染土壌の調査方法やとられている対策についても理解する。</p>	
	【予習】テキスト80～89ページを読み、わからない語句について調べておく。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第8回	<p>食品と環境問題 私たちの食品の中には、海外で生産されているものも多い。生産の過程で起きている環境問題や生産者が直面している問題について、グループワークを通して考える。</p>	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	食品と安全 食の安全について考える。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	生活の中の化学物質（1） 私たちは化学物質によって豊かな生活を送ることができる。生活の中のプラスチックや繊維などの高分子化合物について理解を深める。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	生活の中の化学物質（2） 私たちは化学物質によって豊かな生活を送ることができる。洗剤をはじめとする生活の中の様々な製品について取り扱う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	生活の中の化学物質（3）- 化学物質が生物に及ぼす影響 化学物質の定義を明らかにした上で、生物の生存に必要な化学物質、生物にとって害になる化学物質について理解する。さらに、化学物質が環境中に放出された場合、どのような影響があるのかについて考える。	
	【予習】テキスト90～111ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第13回	生活の中の化学物質（4）- 化学物質による環境汚染 化学物質は、私たちの生活を豊かにする一方で、リスクもある。リスク評価の基本的な考え方について理解する。さらに、これまで問題となった化学物質の例を挙げる。	
	【予習】テキスト90～111ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第14回	私たちの生活の中で使用される製品について、製造される過程と環境問題の関わりを考える。	
	【予習】前回の授業で配布されたプリントをよく読んでおく。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第15回	持続可能な社会と私たちの生き方 これまでの授業で学んできたことをふまえ、私たちのライフスタイルと環境について考える。	
	【予習】持続可能な社会とはどのような社会であるか、調べておく。	40分
	【復習】授業全体の内容をよく復習しておく。	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート、授業中に実施する小課題（60％）、期末試験（40％）		
使用資料 <テキスト>	川合真一郎、張野宏也、山本義和「環境科学入門 第2版」（化学同人）	使用資料 <参考図書>	・金原粲監修「環境科学 改訂版（専門基礎ライブラリー）」（実教出版、2014年）
授業外学修等	指定された予習・復習を行う。		
授業外質問方法	授業終了後、オフィスアワーおよびEメールなど		
オフィス・アワー	月曜日 4限、440室		